

【質問】子宮頸(けい)がんを予防するワクチンが日本でも承認されたそうですが、費用などについて詳しく教えてください。(24歳・女性会社員)

子宮頸がんワクチン

原因ウイルス感染を防止



ればウイルスは自然に排除されますが、感染が長期間続くと子宮頸がんになるこ

ワクチンの効果は絶対ではありません。ワクチン接種と、細胞の変化を早く見つける子宮頸がん検診を併用することにより、ほぼ100%予防できるといわれています。検診も大切なことを忘れないでください。

高負担で普及に課題

て大幅な普及は望めません。全国的に見ると、公費助成する自治体もあります。世界30カ国では無料接種です。

長い間、待望されていた子どもの肺炎や髄膜炎を防ぐヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンも最近やっと承認されましたが、全額自己負担です。副反応の少ないポリオの不活化ワクチンは日本ではまだ承認されていません。子宮頸がんワクチンの承認も世界で99番目という遅さでした。国民の健康を守り、医療費の節約につながるため、国はワクチン行政を根本的に見直してほしいものです。

(県医師会)

【回答】子宮頸部と呼ばれる子宮の入り口にできるがんが、子宮頸がんです。若年女性に多く発生するがんであり、20、30代の女性に発生するがんでは第1位を占めています。毎年1万人以上が子宮頸がんを発症し、3500人以上が死亡しています。

つあり、大きな社会問題となつています。

子宮頸がんの発生はヒトパピローマウイルス(HPV)が原因であることが明らかになっています。HPVは性交渉により感染します。性交渉のある女性の70%が一度はHPVに感染します。健康な女性であ

子宮頸がんはワクチンでほとんど予防できるがんです。性交渉を経験する前の10代前半で接種すれば、70%以上予防できます。成人で性交渉の経験があっても約60%の予防効果があるといわれています。

日本では昨年末にワクチンの臨床使用が承認されました。しかし、任意接種なので、全額自己負担が原則です。接種は3回必要で、費用は計4万~6万円になります。

子宮頸がんワクチンの有用性は明らかですが、高額な自己負担がネックとなつ